

平成26年度

事業報告書

平成26年 4月 1日から

平成27年 3月31日まで

## 平成 26 年度 事業総括

平成 26 年度の本会事業は、一部に事業量の変化などはあったものの、自衛防疫組合や関係機関のご理解とご協力をいただきながら円滑に実施することができました。

主な事業についてみますと、本会事業の要である発生予防事業(予防注射事業)ですが、牛関係の予防接種は、牛伝染性鼻気管炎が 554,705 頭(計画比 99.9%)、牛嫌気性菌 3 種が 83,510 頭(同 99.0%)、アカバネ病が 5,944 頭(同 87.4%)、牛下痢 5 種混合が 22,263 頭(同 106.0%)で飼養頭数が減少する中で、概ね計画どおりの実績でした。

豚及び鶏関係では、豚丹毒は、118,500 頭(同 100.1%)、ニューカッスル病が 144,000 羽(同 101.4%)と増加しました。

馬関係では、軽種繁殖馬を対象とした馬鼻肺炎が 18,045 頭(同 100.3%)、育成馬等を対象とした馬 3 種混合が 25,639 頭(同 101.7%)と増加しましたが、日本脳炎が 4,479 頭(同 93.3%)、馬インフルエンザが 11,908 頭(同 95.3%)と減少傾向にありました。

国の補助事業関係ですが、家畜生産農場清浄化支援対策事業で実施するヨーネ病の自主検査頭数は、前年度の 26,881 頭に対し、25,516 頭と減少したほか、死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業で実施する 24 カ月齢以上の BSE 検査頭数も、前年度の 52,707 頭に対し、51,133 頭と減少しました。

なお、平成 27 年 4 月 1 日から死亡牛の BSE 検査の対象月齢が 48 ヶ月齢以上に引き上げられましたが、道、関係機関の皆様のご尽力やご協力により、年度末における本会の補助事務も円滑に推進されました。

口蹄疫、豚コレラ等海外悪性伝染病の万が一の発生に備える家畜防疫互助事業につきましては、平成 26 年度末で 3 カ年の事業期間が終了し、平成 27 年度から新たな事業期間となります。平成 26 年度末現在、道内では 4,533 戸の牛飼養農場、83 戸の豚飼養農場が加入しております。

その他、公益社団法人中央畜産会の委託事業関係につきましても、地域の自衛防疫組合や関係機関の皆様のご協力のもとに円滑に実施されましたことをご報告いたします。

# 第 1 一 般 会 務

## 1. 会 員

### (1) 正 会 員 27団体

#### ア. 寄託会員 19団体

北海道。ホクレン農業協同組合連合会。北海道農業共済組合連合会。一般社団法人ジェネテイクス北海道。十勝管内家畜自衛防疫推進協議会。空知地区家畜自衛防疫推進協議会。上川地区家畜自衛防疫連絡協議会。石狩地区家畜自衛防疫推進協議会。釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会。日高家畜衛生防疫推進協議会。後志家畜自衛防疫推進協議会。留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会。根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会。胆振家畜自衛防疫推進協議会。オホーツク家畜自衛防疫推進協議会。公益社団法人北海道獣医師会。檜山地区家畜自衛防疫推進協議会。渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会。宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会。

#### イ. 会費会員 8団体

北海道農業協同組合中央会。一般社団法人北海道酪農畜産協会。北海道ホルスタイン農業協同組合。北海道町村会。北海道乳質改善協議会。一般社団法人北海道酪農協会。北海道養鶏会議。一般社団法人ばんえい競馬馬主協会。

### (2) 賛助会員 9団体

北海道信用農業協同組合連合会。雪印メグミルク株式会社。日高軽種馬農業協同組合。株式会社明治。よつ葉乳業株式会社。北海道動物器薬協会。北海道乳業株式会社。胆振軽種馬農業協同組合。一般社団法人北海道養豚生産者協会。

## 2. 役職員の異動

### (1) 役員 異動

第42回通常総会で定款第15条(役員 任期)に伴う役員改選並びに第1回臨時総会(書面決議)で役員 辞任に伴う補欠選任が行われ、次のとおり選任された。

役 職 名	氏 名	所 属 団 体	備 考
会 長	佐々木 環	北海道農業共済組合連合会	再任
副 会 長	高 橋 徹	公益社団法人北海道獣医師会	再任
副 会 長	石 崎 裕	ホクレン農業協同組合連合会	再任
専務理事	武 内 弘 之	公益社団法人北海道家畜畜産物衛生指導協会	再任
理 事	平 尾 勝 徳	北海道養鶏会議	再任
理 事	藤 波 秀 博	後志家畜自衛防疫推進協議会	新任
理 事	新 井 光 雄	上川地区家畜自衛防疫連絡協議会	再任
理 事	駒 澤 弘 義	日高家畜衛生防疫推進協議会	再任
理 事	西 部 博 寿	十勝管内家畜自衛防疫推進協議会	再任
代表監事	北 村 健	一般社団法人北海道酪農畜産協会	新任
監 事	柴 田 倫 宏	北海道農業協同組合中央会	再任

### 3. 通常総会の開催

第42回通常総会を平成26年5月30日、札幌市西区二十四軒4条5丁目 北海道獣医師会館で開催、議案及び決議事項は次のとおり。

- (1) 平成25年度事業及び決算の承認について
- (2) 平成26年度事業計画、収支予算の報告について
- (3) 平成26年度会費の賦課額と徴収方法の決定について
- (4) 平成26年度役員報酬の承認について
- (5) 平成26年度借入金の最高限度額の承認について
- (6) 役員の変更について

### 4. 第1回臨時総会の開催

第1回臨時総会を平成26年6月30日開催、監事の辞任に伴う後任監事の補欠選任(理事提案による書面決議)を行い、北村監事を選任した。

### 5. 理事会の開催

第1回理事会                   平成26年5月12日   北海道獣医師会館

- (1) 第42回通常総会の開催について
- (2) 第42回通常総会提案事項について
- (3) 職務執行状況について

第2回理事会                   平成26年5月30日   北海道獣医師会館

- (1) 会長、副会長、専務理事、代表監事の選定について
- (2) 平成26年度役員報酬の執行について
- (3) 事業報告書の提出について

第3回理事会                   平成26年7月 8日   北海道獣医師会館

- (1) 代表監事の選定について(書面による決議)

第4回理事会                   平成26年12月9日   北海道獣医師会館

- (1) 平成26年度上半期財務状況について
- (2) 平成26年度各事業の進捗状況について
- (3) 職務執行状況について
- (4) 給与規程の一部改正について
- (5) 平成27年度の協会職員体制について

第5回理事会                   平成27年3月12日   北海道獣医師会館

- (1) 平成27年度事業計画、発生予防事業対価、収支予算について
- (2) 第43回通常総会の開催について
- (3) 寄託金の運用状況について
- (4) 業務方法書の一部改正について

## 6. 寄 託 金

金 66,800,000 円 (334口) 一口 200,000 円

寄 託 会 員 名	口 数	寄 託 額
北 海 道	125 口	25,000 千円
ホクレン農業協同組合連合会	150	30,000
北海道農業共済組合連合会	25	5,000
一般社団法人ジェネティクス北海道	10	2,000
十勝管内家畜自衛防疫推進協議会	1	200
上川地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
空知地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
石狩地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
釧路地区家畜自衛防疫連絡協議会	1	200
日高家畜衛生防疫推進協議会	1	200
後志家畜自衛防疫推進協議会	1	200
留萌地区家畜畜産物自衛防疫推進協議会	1	200
根室家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
胆振家畜自衛防疫推進協議会	1	200
オホーツク家畜自衛防疫推進協議会	1	200
公益社団法人北海道獣医師会	10	2,000
檜山地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
渡島地区家畜伝染病自衛防疫推進協議会	1	200
宗谷地区家畜自衛防疫推進協議会	1	200
計 (19団体)	334	66,800

7. 会 費

金 570,000 円

会 費 会 員	会 費 額	賛 助 会 員	会 費 額
北海道農業協同組合中央会	千円 50	北海道信用農業協同組合連合会	千円 100
一般社団法人北海道酪農畜産協会	60	雪印メグミルク株式会社	30
北海道ホルスタイン農業協同組合	50	日高軽種馬農業協同組合	50
北海道町村会	20	株式会社 明治	30
北海道乳質改善協議会	20	よつ葉乳業株式会社	30
一般社団法人北海道酪農協会	10	北海道動物器薬協会	30
北海道養鶏会議	10	北海道乳業株式会社	20
一般社団法人ばんえい競馬馬主協会	20	胆振軽種馬農業協同組合	20
		一般社団法人北海道養豚生産者協会	20
計 (8団体)	240	計 (9団体)	330

## 第 2 事業実施成績

### 1. 発生予防事業(公益目的事業、収益事業等)

次頁のとおり下記事業による予防接種を実施。

#### (1) 補助事業発生予防事業(農林水産省 家畜生産農場清浄化支援対策事業:公益目的事業)

ア. アカバネ病

#### (2) 特定疾病発生予防事業(北海道衛指協事業:公益目的事業)

ア. 牛伝染性鼻気管炎 (IBR)

イ. 牛4種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

ウ. 牛5種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

エ. 牛5種混合(不)(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス)

オ. 牛6種混合(牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢粘膜病2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス・牛アデノ7型ウイルス)

カ. 牛嫌気性菌3種、牛伝染性鼻気管炎同時

キ. 牛嫌気性菌3種、牛4種混合同時

ク. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合同時

ケ. 牛嫌気性菌3種、牛5種混合(不)同時

コ. 牛嫌気性菌3種、牛6種混合同時

サ. 牛嫌気性菌3種

シ. 牛下痢5種混合(不)

ス. ニューカッスル病(生)

セ. ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎混合

ソ. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

タ. 日本脳炎(馬)

チ. 馬インフルエンザ

ツ. 破傷風(馬)

テ. 馬鼻肺炎

ト. 豚丹毒

ナ. 豚流行性下痢(PED)

ニ. 豚伝染性胃腸炎(TGE)・豚流行性下痢混合

#### (3) 育成馬等予防接種推進事業(中央畜産会委託事業:収益事業等)

ア. 馬3種混合(日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ)

イ. 日本脳炎(馬)

ウ. 馬インフルエンザ(競走馬)

#### (4) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業(中央畜産会委託事業:収益事業等)

ア. 馬鼻肺炎(軽種の繁殖牝馬)

イ. 馬インフルエンザ(農用馬、乗用馬等)

## 平成26年度 発生予防事業実績集計表

(単位:頭、羽)

疾 病 名	計 画 (A)	実 績 (B)	計 画 比 B/A
豚 丹 毒	118,400	118,500	100.1
豚伝染性胃腸炎(TGE)・ 豚流行性下痢(PED)混合	0	290	
ニューカッスル病	142,000	144,000	101.4
牛伝染性鼻気管炎	555,070	554,705	99.9
牛嫌気性菌3種	84,370	83,510	99.0
アカバネ病	6,800	5,944	87.4
牛下痢5種混合	21,000	22,263	106.0
馬3種混合	25,200	25,639	101.7
日本脳炎(馬)	4,800	4,479	93.3
馬インフルエンザ	12,500	11,908	95.3
馬鼻肺炎	18,000	18,045	100.3
馬破傷風	0	0	
合 計	988,140	989,283	100.1

(地区別内訳は別紙1)



## 2. 平成26年度 検査推進事業（農林水産省補助事業：公益目的事業）

### (1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業

#### ア. 疾病清浄化支援対策

##### (ア) ヨーネ病自主検査

移動牛等を対象に、自主検査(血清反応・培養検査)を25,516頭について、関係機関の協力により実施。

##### ・血清反応検査

乳用牛 4,080頭 肉用牛 21,385頭 合計 25,465頭

##### ・培養検査

乳用牛 0頭 肉用牛 51頭 合計 51頭

内訳は表①のとおり

##### (イ) ヨーネ病自主とう汰

ヨーネ病患者の同居牛等を対象に自主とう汰を関係機関の協力により実施。

乳用牛 155頭 肉用牛 47頭 合計 202頭

内訳は表①のとおり

##### (ウ) 牛白血病対策

牛白血病発生農場や公共牧場の検査及び吸血昆虫駆除対策を関係機関の協力により実施。

発生農場の検査 3農場 477頭 公共牧場の検査 3牧場 356頭

公共牧場の吸血昆虫対策 7牧場

##### (エ) オーエスキー病清浄化対策

オーエスキー病清浄種豚流通促進事業抗体検査成績

支部	区分		検査頭数	成績		証明書発行	備考
	市町村数	農場数		陽性	陰性		
石狩	1	1	4	0	4	4	
上川	1	1	20	0	20	20	
網走	2	4	50	0	50	50	
合計	4	6	74	0	74	74	

#### イ. 農場飼養衛生管理強化対策

農場の飼養衛生管理向上のため、農場が支払った獣医師指導経費に助成。

・指導実施農場 478農場(乳用牛:436農場、肉用牛:35農場、乳肉複合:7農場)

(表①)

ヨーネ病自主検査並びに自主とう汰実施頭数(平成26年度)

事業 支部	自主検査頭数										自主とう汰頭数				備考
	血清				細菌培養				合計		戸数	乳用牛 頭数	肉用牛 頭数	頭数 合計	
	乳用牛		肉用牛		乳用牛		肉用牛		戸数	頭数					
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数							
石狩	1	1	167	435	0	0	0	0	168	436	0	0	0	0	
道南(渡島)	3	171	342	785	0	0	0	0	345	956	1	5	0	5	
道南(桧山)	5	11	346	655	0	0	0	0	351	666	0	0	0	0	
後志	0	0	104	263	0	0	0	0	104	263	1	2	0	2	
空知	15	65	287	720	0	0	0	0	302	785	2	0	2	2	
上川	38	357	352	864	0	0	0	0	390	1,221	3	5	0	5	
留萌	6	19	98	262	0	0	0	0	104	281	1	0	1	1	
宗谷	142	1,255	157	359	0	0	0	0	299	1,614	0	0	0	0	
網走	49	172	990	2,240	0	0	0	0	1,039	2,412	2	1	2	3	
胆振	0	0	867	2,292	0	0	7	51	874	2,343	0	0	0	0	
日高	21	185	1,176	2,841	0	0	0	0	1,197	3,026	3	0	15	15	
十勝	1	15	2,193	7,081	0	0	0	0	2,194	7,096	18	41	12	53	
釧路	77	139	352	1,858	0	0	0	0	429	1,997	12	36	14	50	
根室	286	1,690	290	730	0	0	0	0	576	2,420	14	65	1	66	
合計	644	4,080	7,721	21,385	0	0	7	51	8,372	25,516	57	155	47	202	

註 1 自主検査及び自主とう汰の戸数は延べ戸数である。

ウ. 疾病発生・流行防止支援対策

アカバネ病ワクチン接種を実施。 5,944頭

(詳細:発生予防事業成績(別紙1)のとおり)

(2) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

ア. 事業実施頭数

事業対象死亡牛頭数	左のうち		備考
	BSE検査頭数	検査除外頭数	
51,432頭	51,133頭	299頭	全頭陰性

イ. 死亡牛適正処理推進協議会の開催

開催時期	開催場所	協議内容	参加人員	備考
平成27年3月5日	札幌市	1. 情勢報告 2. 平成26年度事業の進捗状況 3. 検査月齢の見直しに伴う対応	16名	

### 3. 平成26年度 中央畜産会等委託事業（収益事業等）

#### (1) 馬飼養衛生管理特別対策事業

##### ア. 馬飼養管理技術地方講習会の開催

馬関係獣医師の技術並びに馬飼養者の自衛防疫意識の向上を図るため講習会を開催。

開催時期	開催場所	講師	講習内容	参加人員
平成26年10月24日	苫小牧市	セリの馬診療所 伊藤 桃子氏 氏ほか4名	テーマ 馬の歯科疾患	107名

##### イ. 地域馬獣医療実態調査

調査時期	調査地域	調査対象	調査課題
平成26年10～12月	上川、留萌、宗谷、網走、十勝、釧路、根室管内	馬飼養農家 563戸 (軽種馬を除く)	テーマ 衛生管理区域設定の認識など

#### (2) 育成馬等予防接種推進事業

競走馬の馬3種混合（日本脳炎、破傷風、馬インフルエンザ）、日本脳炎、馬インフルエンザ予防接種に助成。  
発生予防事業実績表（別紙1）のとおり

#### (3) 馬インフルエンザ等自衛防疫推進事業

##### ア. 馬鼻肺炎予防接種

軽種馬の繁殖牝馬の馬鼻肺炎ワクチン接種に助成。

発生予防事業実績表（別紙1）のとおり

##### イ. 馬インフルエンザ予防接種

馬インフルエンザの清浄化の確認と維持を図るため、乗用馬・農用馬等の予防接種に助成。

区分 \ 用途別	実施頭数			合計
	農用馬	乗用馬	その他関連馬	
馬インフルエンザワクチン接種	108	375	132	615

##### ウ. 地域馬伝染性疾病防疫推進検討会の開催

馬伝染性疾病の防疫強化を図るため、平成26年10月と平成27年2月に開催。

#### (4) 組織強化対策事業

##### ア. 衛生体制強化基金事業

自衛防疫活動の充実、強化を図るための情報収集と情報交換を実施。

##### イ. 農場HACCP認証普及推進支援対策事業

農場HACCP認証を普及するため、具体的な構築のための指導とその効果を確認。

項目	内容
農場HACCP構築の指導	せたな町(養豚)、富良野市(酪農)、清水町(肉用牛)の3農場で毎月1回実施
効果確認の指導	上記のうち2農場(酪農と肉用牛)で9月と2月に実施

##### ウ. 地域自衛防疫強化特別対策事業

地域における自衛防疫活動の強化を図るため、推進会議の開催、生産者段階の防疫演習の実施、畜産技術者対象の海外病研修会の開催、牛白血病拡大防止のための支援を実施。

項目	内容
地域自衛防疫推進会議	平成26年8月及び平成27年3月に札幌市で開催
防疫演習	家畜保健衛生所と協力し、白老町、旭川市、北広島市、湧別町、滝上町で開催
人工授精師研修会	平成26年11月に札幌市で開催 テーマ:「海外悪性伝染病について」
牛白血病拡大防止支援	<実施農場> 八雲町 2農場 別海町 2農場
	<支援内容> 検査、採材費の助成、吸血昆虫忌避剤の助成など

## (5) 家畜防疫互助基金支援事業

平成26年度 家畜防疫互助事業生産者積立金額

(単位 : 戸、頭、円)

区分	家畜の種類	契約戸数	契約頭数	生産者積立金	
乳用牛・肉用牛	1 乳用牛				
	(1)乳牛(24か月齢以上)	3,429	275,879	71,728,540	
	(2)乳牛(24か月齢未満)	3,471	170,674	22,187,620	
	2 肉用牛				
	(1)肉専用種繁殖雌牛(24か月齢以上)	1,099	38,006	9,881,560	
	(2)肉専用種繁殖雌牛(24か月齢未満)及び肉専用種肥育牛	1,036	65,863	12,843,285	
	(3)肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛	199	87,553	11,381,890	
	(4)乳用種肥育牛	155	141,790	18,432,700	
	計	4,533	779,765	146,455,595	
豚	企業型	(1)繁殖用種豚(雌)	24	13,787	1,861,245
		(2)繁殖用種豚(雄)	24	464	125,280
		(3)肥育豚	25	148,683	8,177,565
		小計	25	162,934	10,164,090
	家族型	(1)繁殖用種豚(雌)	56	25,071	3,008,520
		(2)繁殖用種豚(雄)	56	866	207,840
		(3)肥育豚	58	198,171	7,926,840
		小計	58	224,108	11,143,200
		計	83	387,042	21,307,290
	合計		4,616	1,166,807	167,762,885

#### 4. 家畜自衛防疫の推進強化を図る事業

##### (1) 広報誌等の発行(自衛防疫強化総合対策事業、家畜衛生対策事業)

発行年月	発行部数	標題	執筆者	配布先
平成26年4月	11,000部	飼養衛生管理基準啓発リーフレット	北海道、道衛指協	関係機関、団体、家畜保健衛生所等
平成26年5月	1,600部	豚流行性下痢(PED)リーフレット	北海道、道衛指協	関係機関、団体、家畜保健衛生所等
平成26年7月	250部	予防注射事業の事務処理要領	道衛指協	衛指協支部、各自衛防疫組合

##### (2) 家畜衛生技術普及講習会(講習会事業)

###### ア. 家畜衛生技術普及講習会(技術者向け)

区分	開催時期	場所	講師	講習内容	参加者
空知支部	平成26年5月14日	岩見沢市	空知家畜保健衛生所 齋野 仁 氏	牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD)のコントロールについて	19名
本部	平成26年6月20日	札幌市	北海道大学 喜田 宏 氏	人とトリインフルエンザ対策の要点	84名
上川支部	平成26年7月24日	旭川市	動物衛生研究所北海道支所 恒光 裕 氏	豚のウイルス性下痢症	33名
日高支部	平成26年9月3日	新ひだか町	日本中央競馬会総合研究所 松村 富夫 氏	EHV-1型由来生物学的製剤の妊娠馬への応用の可能性について	100名
留萌支部	平成26年9月24日	幌延町	酪農学園大学 樋口 豪紀 氏	マイコプラズマによる呼吸器感染症	32名
本部	平成26年12月4日	札幌市	ペーリンガーインゲルハイムヘルメティカジャパン株式会社 宮下 マリ 氏	PRRSの最新知見について	52名
留萌支部	平成26年12月11日	幌延町	酪農学園大学 大塚 浩通 氏	子牛の下痢・消化器病と免疫の成長	28名
釧路支部	平成27年2月27日	釧路市	北海道大学 今内 寛 氏	牛白血病の現状と対策	64名
合計	8回				412名

###### イ. 家畜衛生技術普及講習会(農家向け)

区分	牛		豚		鶏		馬		放牧衛生		衛生全般		計	
	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員	回	人員
空知	4	71											4	71
上川	2	117	2	145			1	26					5	288
留萌	1	14											1	14
宗谷	12	216											12	216
胆振	6	145			1	10							7	155
十勝	11	135									2	67	13	202
根室	1	53											1	53
合計	37	751	2	145	1	10	1	26	0	0	2	67	43	999

#### 5. 家畜衛生関係団体への協力

鶏病研究会北海道支部、北海道オーエスキー病侵入防止対策協議会、北海道牛削蹄師会の事業推進に協力。